



りすぐみだより 3月

木々や花が芽吹き始める様子に、春の訪れを感じる季節となりました。りすぐみの子ども達は散歩に出かけ、毎回様々な発見をしています。

園を出発すると、ネコジャラシを摘んで散歩がスタートします。はじめはそれぞれが手に持って満足していましたが、次第に友達に向けてくすぐるような仕草をし始め、笑い合う姿も見られるようになりました。



高架下には、つくしがたくさん生えていました。子ども達はつくしを手にとると、不思議そうな表情をしながら頭をツンツンとつついていました。



散歩中に見つけた草花や生き物を写真にして“おさんぽマップ”を作ると、子ども達はすぐに気が付いて見に来ていました。友達や自分の写真を指しながら「これは？」と尋ねるので「〇〇くんだよ」と答えると、「〇〇くん」と友達の名前を口にしていました。友達の名前も覚えたようで、顔を見合わせて微笑む姿も見られます。



入園当初は新しい環境に戸惑っていた子も、今では友達同士で挨拶をしたり、一緒に遊んだりする姿が見られるようになりました。様々なものに興味をもち挑戦する中で、言葉も出てくるようになりました。あっという間の一年間ではありましたが、保護者の皆様と一緒に成長する子ども達の姿を見守ることができ、嬉しく思います。これからも、子ども達の更なる成長を楽しみにしています。一年間ありがとうございました。

中村 友美 白國 和子